

●教員の養成の目標

子ども学科

人間研究の幅広い視野に立って、乳幼児から学童期も含めた子どもの成長や発達について理解を深め、子どもを取り巻く環境、さまざまな問題や文化状況を理解し、保護者や地域の人々とともに、子どもの健やかな生活・発達を援助できる能力・技術を身につけることを目指している。その能力を保育、幼稚園教育、小学校教育、社会福祉の分野で活かすことができる人材を養成する。

発達臨床学科

心理学の知見を基礎として、乳幼児期から成人期に至る長い期間の発達について理解を深め、そこで生じる諸問題への心理的教育的なアプローチの仕方を学び、心理的援助を必要とする人々や発達において困難を抱えた人々を理解し、支援できる能力を身につけることを目指している。その能力を、保育、幼稚園教育や特別支援教育や心理臨床の分野で活かすことができる人材を養成する。